二　短期格付の場合のリスク・ウェイトは、次の表に定めるところによる。

信用リスク区分	証券化エクスポージャー（再証券化エクスポージャーを除く。）の場合（パーセント）	再証券化エクスポージャーの場合（パーセント）
7―1	一・六	三・二
7―2	四	八
7―3	八	十八
7―4	自己資本控除	

（内部格付手法を採用している場合における証券化エクスポージャーの個別リスク）

第二百七十九条の三　前三節の規定にかかわらず、農林中央金庫が内部格付手法を採用している場合であって、証券化エクスポージャーの個別リスクの額を算出するときには、適格格付機関の付与する格付に対応する信用リスク区分に応じ、次に定めるリスク・ウェイトを第二百五十九条又は第二百六十条に定める要領に基づき証券化エクスポージャーの銘柄ごとに相殺した後のネット・ポジションの額に乗じて得た額を個別リスクの額とする。

一　長期格付の場合のリスク・ウェイトは、次の表に定めるところによる。

信用リスク区分	証券化エクスポージャー（再証券化エクスポージャーを除く。）の場合		再証券化エクスポージャーの場合
	Nが六以上であり、かつ、当該証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）である場合（パーセント）	Nが六以上の場合（パーセント）	Nが六未満の場合（パーセント）	
8―1	〇・五六	〇・九六	一・六〇	当該再証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）である場合（パーセント）	一・六〇
8―2	〇・六四	一・二〇	二・〇〇	二・〇〇
8―3	〇・八〇	一・四四		二・八〇	当該再証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）でない場合（パーセント）	二・〇〇
8―4	〇・九六	一・六〇			三・二〇
8―5	一・六〇	二・八〇	四・〇〇		四・八〇
8―6	二・八〇				八・〇〇
8―7	四・八〇	六・〇〇			十二・〇〇
8―8	八・〇〇				十六・〇〇
8―9	二十・〇〇				二十四・〇〇
8―10	三十四・〇〇				四十・〇〇
8―11	五十二・〇〇				六十・〇〇
8―12	自己資本控除				六十八・〇〇

二　短期格付の場合のリスク・ウェイトは、次の表に定めるところによる。

信用リスク区分	証券化エクスポージャー（再証券化エクスポージャーを除く。）の場合		再証券化エクスポージャーの場合
	Nが六以上であり、かつ、当該証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）である場合（パーセント）	Nが六以上の場合（パーセント）	Nが六未満の場合（パーセント）	
7―1	〇・五六	〇・九六	一・六〇	当該再証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）である場合（パーセント）	一・六〇
7―2	〇・九六	一・六〇	二・八〇	二・四〇
7―3	四・八〇	六・〇〇		十二・〇〇	当該再証券化エクスポージャーが最優先証券化エクスポージャー（内部評価方式による場合を含む。）でない場合（パーセント）	三・二〇
7―4	自己資本控除				五・二〇
					十八・〇〇

（無格付の証券化エクスポージャーの個別リスク等）

第二百七十九条の四　第二百二十六条第二項から第六項まで及び第二百五十八条第二項の規定は、証券化エクスポージャーの個別リスクの額の計算について準用する。この場合において、第二百二十六条第二項中「前項」とあるのは「第二百七十九条の二及び第二百七十九条の三」と、同条第三項中「前項第一号」とあるのは「第二百七十九条の四第一項において読み替えて準用する前項第一号」と、同条第四項中「第二項第二号」とあるのは「第二百七十九条の四第一項において読み替えて準用する第二項第二号」と、同条第六項中「信用リスク・アセットの額」とあるのは「個別リスクの額」と読み替えるものとする。

2　前項において読み替えて準用する第二百二十六条第二項の規定にかかわらず、農林中央金庫が証券化エクスポージャーに係る原資産の信用リスクの算出について内部格付手法の承認を受けている場合又は当該原資産の追加的リスクの算出について内部モデル方式の承認を受けている場合には、第二百五十九条又は第二百六十条に定める要領に基づいて相殺した後の無格付（前項において読み替えて準用する第二百二十六条第二項各号に該当する場合を含む。以下この条において同じ。）の証券化エクスポージャーについて、第二百三十四条第一項第二号に規定する所要自己資本の額を個別リスクの額とすることができる。

3　第一項において読み替えて準用する第二百二十六条第二項及び前項の規定にかかわらず、農林中央金庫は、第二百五十九条又は第二百六十条に定める要領に基づいて相殺した後の無格付の証券化エクスポージャーについて、当該無格付の証券化エクスポージャーの裏付資産を構成する個別のエクスポージャーに対して適用される信用リスクに係る標準的手法のリスク・ウェイトの加重平均値に八パーセント及び集中レシオ（当該無格付の証券化エクスポージャーに係る証券化取引に関する全ての証券化エクスポージャーの額の合計額を、当該無格付の証券化エクスポージャーが含まれる階層及び当該階層より劣後する階層に含まれる全ての証券化エクスポージャーの額の合計額で除した値をいう。以下この項において同じ。）を乗じた値をマーケット・リスクに係るリスク・ウェイトとして適用することができる。ただし、当該集中レシオが十二・五以上である場合は、当該無格付の証券化エクスポージャーは、自己資本控除とする。